



BX GROUP

2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2024年11月26日

文化シヤッター株式会社

目 次

P2 2025年3月期 第2四半期(中間期)の実績について

P3 業績

P4 「売上高」「営業利益」の増減要因

P5 用途別セグメント別「売上高」

P6 2025年3月期の見通しについて

P7 業績見通し

P8 「売上高」「営業利益」の増減要因

P9 セグメント別「売上高」「営業利益」「受注」実績と予想

P10 中期経営計画の進捗状況について

P11 【事業戦略】主要基幹事業
「シャッター事業」「ドア事業」「パーティション事業」

P12 【事業戦略】主要注力事業
「エコ&防災事業」「メンテナンス事業」「海外事業」

P13 【財務戦略】投資計画

P14 トピックス

P15 財務、新商品他

P16 参考資料

P17 BXグループ概要

P18 BXグループのセグメント別構成と海外事業

P19 連結貸借対照表

P20 連結キャッシュフロー計算書

P21 【資本コスト経営の実践】経営指標

P22 【資本コスト経営の実践】BxVAツリー図

P23 【財務戦略】キャッシュフローアロケーション

P24 【財務戦略】配当金と配当性向の推移

P25 【経営基盤強化】サステナビリティへの対応

P26 【事業戦略】海外事業の業績概要

P27 政策保有株式について

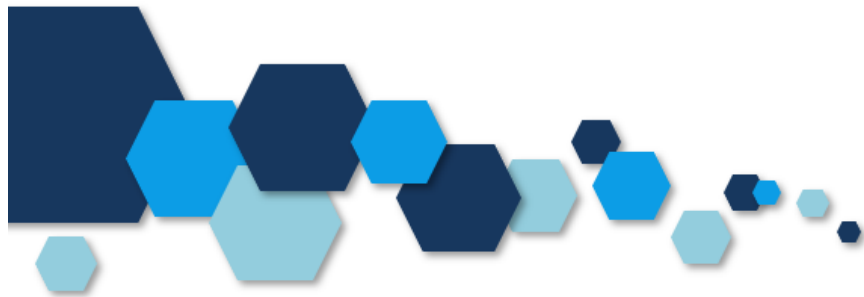
P28 BXグループのESG経営 SDGsへの取り組み

P29 事業環境

P30 シャッター関連製品の状況（単体）

P31 建材関連製品の状況（単体）

2025年3月期 第2四半期(中間期)の 実績について



(単位：百万円)

	2024年3月期上期		2025年3月期上期		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	98,675	100.0%	102,298 (103,000)	100.0%	103.7%
売上原価	72,649	73.6%	74,940 (75,700)	73.3%	103.2%
売上総利益	26,025	26.4%	27,357 (27,300)	26.7%	105.1%
販売費及び 一般管理費	21,711	22.0%	23,467 (22,600)	22.9%	108.1%
営業利益	4,314	4.4%	3,890 (4,700)	3.8%	90.2%
経常利益	4,992	5.1%	3,955 (4,400)	3.9%	79.2%
当期純利益	3,049	3.1%	2,208 (2,450)	2.2%	72.4%
1株当たり配当金	21円		32円		+11円
設備投資額	2,461		3,105		644
減価償却費	2,395		3,116		721
期末 従業員 (人)	正社員	5,243	5,396		153
	臨時雇用者	1,232	1,211		△21
	合計	6,475	6,607		132

()は期初予想数字

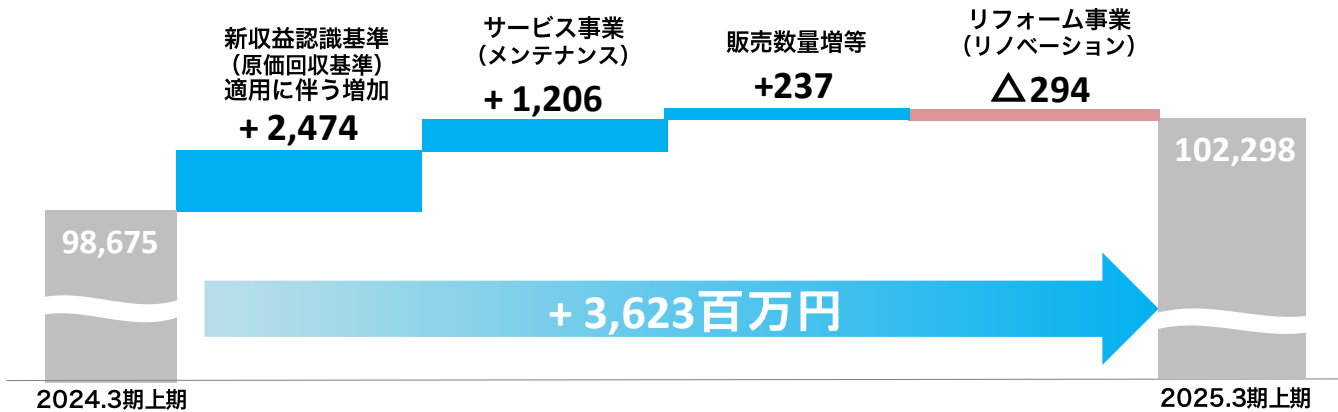
ポイント説明

- ◆ 2025年3月期第2四半期は、増収減益
- ◆ 「売上高」は、好調なサービス事業が牽引し、4期連続の「増収」で過去最高
- ◆ 「営業利益」は、処遇向上に伴う人件費など販管費が増加した影響等により、2022年3月期以来の減益
- ◆ 「1株当たり配当金」は、11円増配の32円
- ◆ 「設備投資額」約31億円の主な内訳は、
 - ・生産性向上を目的とした生産設備の刷新と、作業環境の改善を目的とした建屋の老朽化対策などで約28億円
 - ・働き方改革およびDX推進に向けたシステム関連投資などで約3億円

「売上高」「営業利益」の増減要因

【売上高】

(単位：百万円)



「売上高」のポイント説明

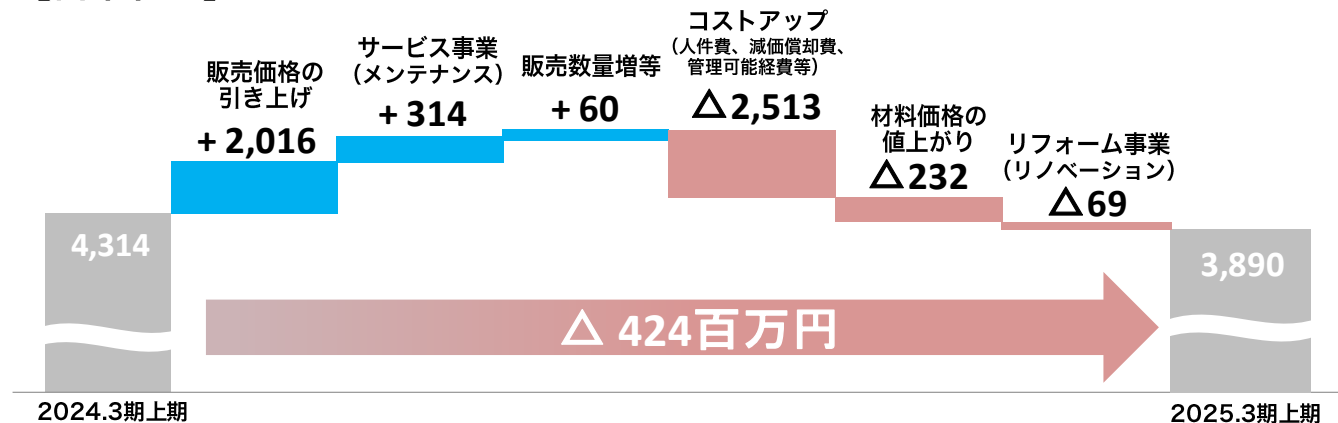
主な増収要因は、「収益認識基準に伴う増加」と「サービス事業」が寄与

減収要因は、「リフォーム事業」が影響

トータルで36億2,300万円の「増収」

【営業利益】

(単位：百万円)



「営業利益」のポイント説明

主な増益要因は、「販売価格の引き上げ」と「サービス事業」が寄与

主な減益要因は、処遇向上に伴う人件費などの販管費の増加による「コストアップ」と「材料価格の値上がり」が影響

トータルで4億2,400万円の「減益」

(単位：億円)

用途 製品・事業群	工場・倉庫		オフィスビル ・公共施設		医療福祉・学校		商業施設		住宅その他		合計	
	売上高	増収額	売上高	増収額	売上高	増収額	売上高	増収額	売上高	増収額	売上高	増収額
計	229.7	△ 17.5	127.9	21.1	81.4	12.8	58.8	△ 3.2	525.1	23.0	1,022.9	36.2
シャッター関連製品事業	146.6	△ 9.9	24.6	2.2	9.5	1.2	21.7	△ 4.7	230.6	30.6	433.0	19.4
軽量シャッター群	33.4	△ 2.4	4.8	△ 0.3	1.4	0.2	5.8	△ 0.3	44.6	△ 0.8	90.0	△ 3.6
重量シャッター群(※)	93.3	△ 5.9	14.1	2.0	4.5	0.3	10.9	△ 3.8	149.6	33.2	272.4	25.8
窓シャッター群	-	-	-	-	-	-	-	-	26.9	△ 2.7	26.9	△ 2.7
シャッター関連群	19.9	△ 1.6	5.7	0.5	3.6	0.7	5.0	△ 0.6	9.5	0.9	43.7	△ 0.1
建材関連製品事業	45.3	△ 6.7	58.5	13.5	54.5	9.3	16.7	△ 1.6	212.7	△ 10.1	387.7	4.4
エクステリア群 (住宅建材)	-	-	-	-	-	-	-	-	39.1	△ 4.8	39.1	△ 4.8
ドア・パーティション群	45.3	△ 6.7	58.5	13.5	54.5	9.3	16.7	△ 1.6	59.3	△ 6.5	234.3	8.0
その他建材製品群 (建築資材)	-	-	-	-	-	-	-	-	114.3	1.2	114.3	1.2
サービス事業	33.5	1.1	38.4	4.4	15.8	2.1	14.3	0.5	41.7	3.9	143.7	12.0
リフォーム事業	-	-	-	-	-	-	-	-	28.2	△ 2.9	28.2	△ 2.9
その他事業	4.3	△ 2.0	6.4	1.0	1.6	0.2	6.1	2.6	11.9	1.5	30.3	3.3

※シャッター関連製品事業の「重量シャッター群」は、オーバースライディングドア、高速シートシャッター、ガレージドアを含む

ポイント説明

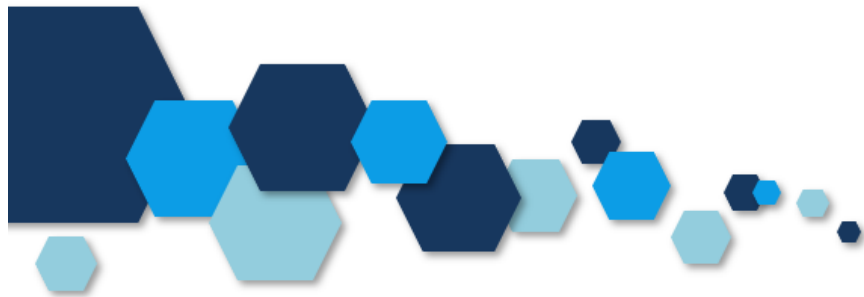
非住宅向けは、「オフィスビル・公共施設」と「医療福祉・学校」向けが牽引。

◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、
ドア・パーティション群の増加
により、21億1,000万円の「増収」。

◆ 「医療福祉・学校」向けは、
ドア・パーティション群の増加
により、12億8,000万円の「増収」。

◆ 「住宅その他」向けは、海外をメインとした
重量シャッター群（ガレージドア）の増加
により、23億円の「増収」。

2025年3月期の見通しについて



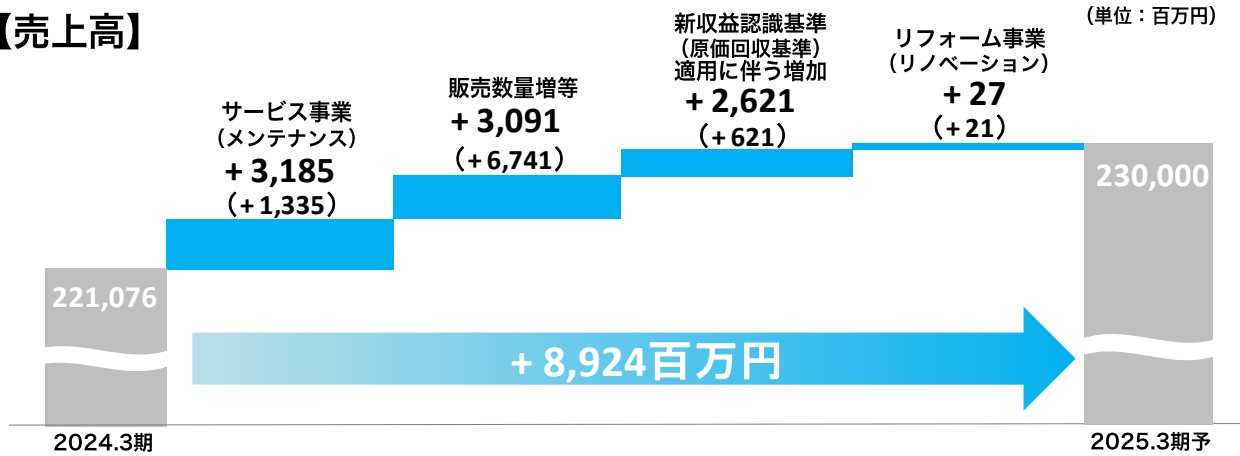
(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期			
	通期実績	売上比	通期予想	売上比	前期比	
					伸率	増減
売上高	221,076	100.0%	230,000	100.0%	104.0%	8,924
売上原価	161,727	73.2%	167,500	72.8%	103.6%	5,773
売上総利益	59,349	26.8%	62,500	27.2%	105.3%	3,151
販売費及び 一般管理費	44,876	20.3%	47,500	20.7%	105.8%	2,624
営業利益	14,472	6.5%	15,000	6.5%	103.6%	528
経常利益	15,941	7.2%	15,400	6.7%	96.6%	△ 541
当期純利益	10,582	4.8%	11,400	5.0%	107.7%	818
1株当たり配当金	55円		64円		-	+9円
設備投資額	4,826		8,000		-	3,174
減価償却費	5,451		6,265		-	814
期末 従業員 (人)	正社員	5,290	5,400		-	110
	臨時雇用者	1,203	1,220		-	17
	合計	6,493	6,620		-	127

ポイント説明

- ◆ 期初の予想数字に変更なし
- ◆ 「売上高および営業利益」
高止まりする原材料価格などコストアップ要因に対して、引き続き、適正な販売価格の引き上げと、高水準の受注状況を背景とした販売数量の拡大等により、売上高は前期比4.0%増の2,300億円、営業利益は前期比3.6%増の150億円を予想
- ◆ 「1株当たり配当金」は、配当性向40%を目安として9円増配の64円を予定し、株主還元を拡充
- ◆ 「設備投資額」80億円の主な内訳は、
 - ・生産性向上を目的とした生産設備の刷新と、工場の建て替えを含めた建屋の老朽化対策などで約74億円
 - ・働き方改革およびDX推進に向けたシステム関連投資などで約6億円

【売上高】



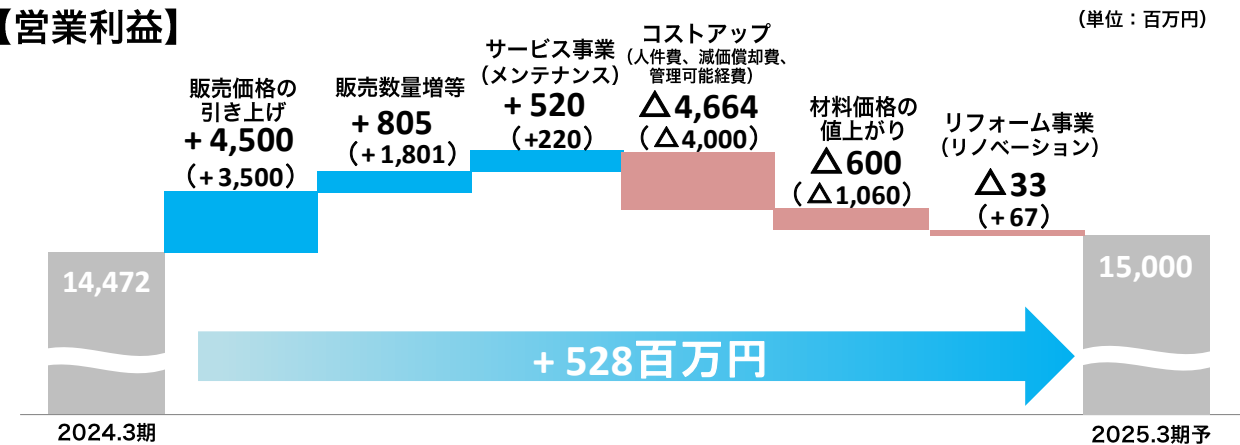
() は期初予想数字

「売上高」のポイント説明

主な増収要因は、「サービス事業」と「販売数量の増加」が寄与

トータルで89億2,400万円の「増収」を見込む

【営業利益】



() は期初予想数字

「営業利益」のポイント説明

主な増益要因は、「販売価格の引き上げ」と「販売数量の増加」が寄与

減益要因は、人件費の増加等に伴う「コストアップ」と「材料価格の値上がり」が影響

トータルで5億2,800万円の「増益」を見込む

セグメント別「売上高」「営業利益」「受注」実績と予想

(単位：百万円)

<売上高>	2024年3月期						2025年3月期					
	上期実績			通期実績			上期実績			通期予想		
		伸率	増減		伸率	増減		伸率	増減		伸率	増減
シャッター関連製品事業	41,363	119.6%	6,765	91,094	115.5%	12,202	43,299	104.7%	1,936	93,630	102.8%	2,536
建材関連製品事業	38,330	112.0%	4,103	87,870	109.2%	7,389	38,774	101.2%	444	90,620	103.1%	2,750
サービス事業	13,166	107.7%	945	29,115	108.7%	2,341	14,372	109.2%	1,206	32,300	110.9%	3,185
リフォーム事業	3,110	108.0%	230	5,973	93.8%	△ 393	2,816	90.5%	△ 294	6,000	100.5%	27
その他事業	2,704	102.5%	66	7,022	105.4%	357	3,034	112.2%	330	7,450	106.1%	428
合計	98,675	114.0%	12,111	221,076	111.0%	21,897	102,298	103.7%	3,623	230,000	104.0%	8,924

<営業利益>

シャッター関連製品事業	3,051	117.4%	451	8,718	139.9%	2,485	3,449	113.0%	398	9,000	103.2%	282
建材関連製品事業	1,243	427.1%	952	4,427	167.4%	1,781	266	21.4%	△ 977	4,450	100.5%	23
サービス事業	2,107	124.7%	417	5,280	116.3%	741	2,421	114.9%	314	5,800	109.8%	520
リフォーム事業	20	-	42	△ 17	-	△ 79	△ 49	-	△ 69	△ 50	-	△ 33
その他事業	364	108.9%	30	1,095	116.5%	154	415	114.1%	51	1,200	109.6%	105
配賦不能額	2,473	107.1%	165	5,031	106.3%	296	2,613	105.7%	140	5,400	107.3%	369
合計	4,312	166.9%	1,728	14,472	149.4%	4,787	3,890	90.2%	△ 423	15,000	103.6%	528

<受注残高>

シャッター関連製品事業	37,386	99.1%	△ 321	34,697	101.7%	572	39,299	105.1%	1,913	36,000	103.8%	1,303
建材関連製品事業	52,059	109.3%	4,422	47,778	111.8%	5,024	57,871	111.2%	5,812	54,000	113.0%	6,222
サービス事業	5,015	111.9%	535	4,091	108.8%	329	5,722	114.1%	707	4,700	114.9%	609
リフォーム事業	1,145	72.8%	△ 428	1,134	78.3%	△ 315	1,820	158.9%	675	1,300	114.6%	166
その他事業	3,898	111.8%	413	3,264	97.6%	△ 79	4,702	120.6%	804	4,000	122.5%	736
合計	99,506	104.9%	4,620	90,967	106.5%	5,532	109,415	110.0%	9,909	100,000	109.9%	9,033

<受注高>

シャッター関連製品事業	44,625	105.9%	2,483	91,667	110.6%	8,813	47,901	107.3%	3,276	94,932	103.6%	3,265
建材関連製品事業	47,636	107.3%	3,241	92,895	108.3%	7,129	48,867	102.6%	1,231	96,841	104.2%	3,946
サービス事業	14,419	107.9%	1,059	29,445	108.3%	2,250	16,002	111.0%	1,583	32,908	111.8%	3,463
リフォーム事業	2,806	75.4%	△ 917	5,658	79.9%	△ 1,427	3,501	124.8%	695	6,165	109.0%	507
その他事業	3,258	97.7%	△ 76	6,942	96.2%	△ 277	4,472	137.3%	1,214	8,185	117.9%	1,243
合計	112,746	105.4%	5,790	226,609	107.8%	16,488	120,745	107.1%	7,999	239,032	105.5%	12,423

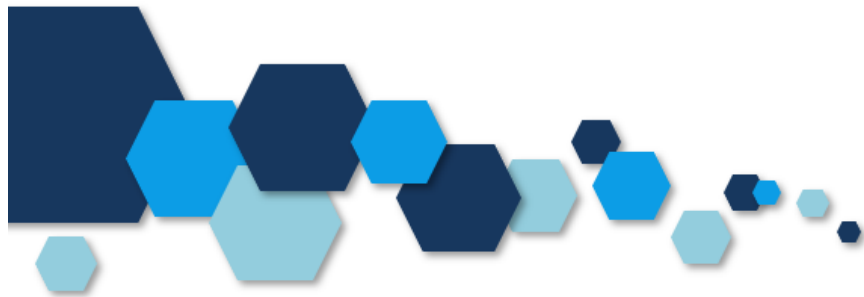
👍 Point 期初予想比3.9%増

👍 Point 期初予想比3.8%増

👍 Point 期初予想比2.9%増

👍 Point 期初予想比1.6%増

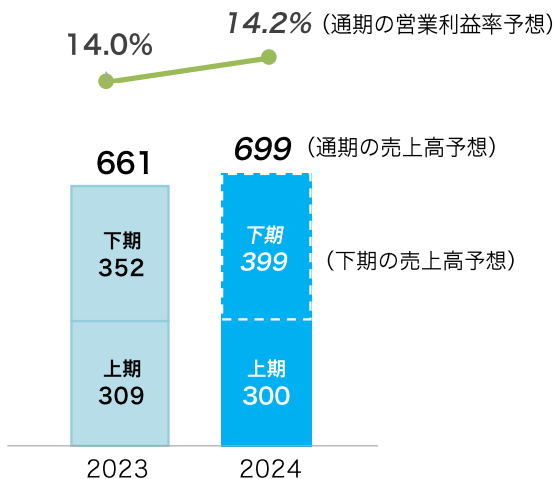
中期経営計画の進捗状況について



シャッター事業

- ・ 上期は、「工場・倉庫」向けが減少した一方で、販売価格の引き上げ効果により、売上高は前年同期比3.1%減、営業利益率は同0.9%増。
- ・ 通期は、9月末の受注残が約10億円増えたことと、引き続き販売価格の引き上げを実行することで、売上高は前期比5.7%増の699億円、営業利益率は同0.2%増の14.2%を計画。

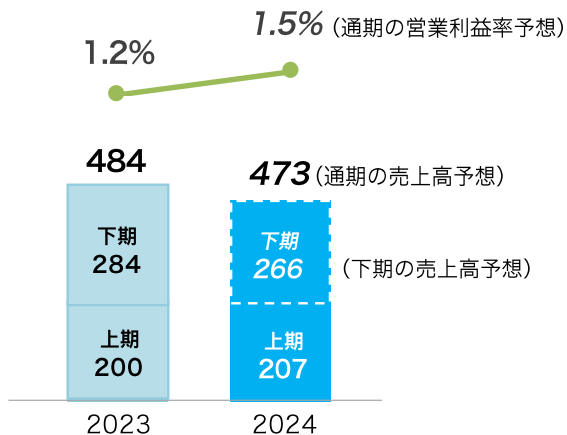
売上高(億円)・営業利益率



ドア事業

- ・ 上期は、「オフィスビル・公共施設」「医療福祉・学校」向けの軽量ドアが堅調に推移したことで、売上高は前年同期比3.5%増。一方で、主力のスチールドアの販売数量減と販売価格の引き上げが低調に推移したことで、営業利益率は同1.6%減。
- ・ 通期は、9月末の受注残高が前年同期比で約70億円弱増えたこと、販売価格の引き上げを推し進めることで、売上高は前期比2.2%減の473億円、営業利益率は同0.3%増の1.5%を計画。

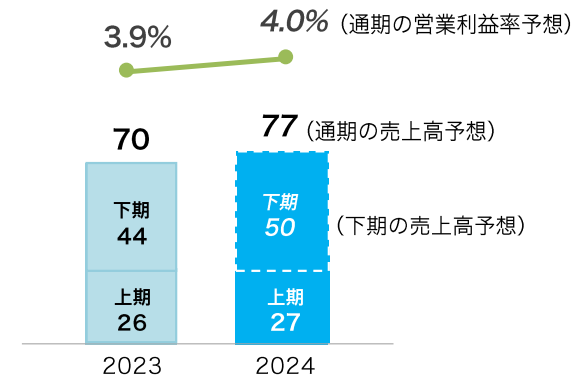
売上高(億円)・営業利益率



パーティション事業

- ・ 上期は、「学校」向けが堅調に推移したことで、売上高は前年同期比4.7%増、営業利益率は同3.4%増。
- ・ 通期は、「オフィスビル」向けの受注残高が堅調であることを背景に、売上高は前期比9.9%増の77億円、営業利益率は同0.1%増の4.0%を計画。

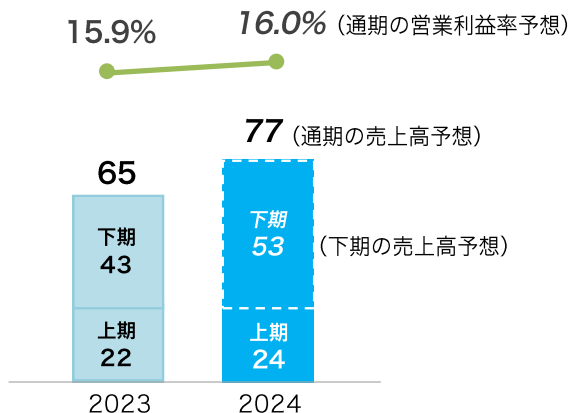
売上高(億円)・営業利益率



エコ&防災事業

- ・ 上期は、止水商品と屋内用遮熱シート「はるクール」の売上が堅調に伸びたことで、売上高は前年同期比6.0%増。
一方で、エクステリア用の再生複合材が低調に推移したことで、営業利益率は同2.0%減。
- ・ 通期は、主に止水商品の堅調な受注状況を背景に、売上高は前期比18.4%増の77億円、営業利益率は同0.1%増の16.0%を計画。

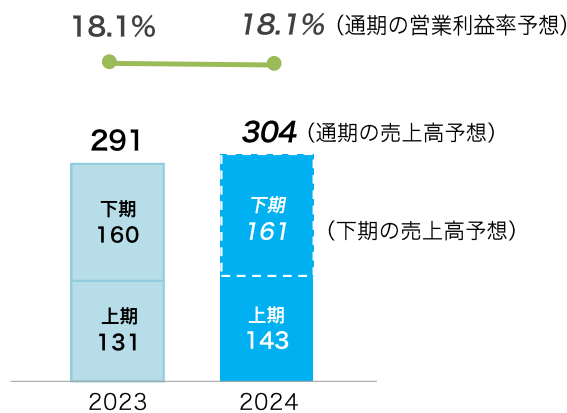
売上高(億円) ・ 営業利益率



メンテナンス事業

- ・ 上期は、修理と法定点検の売上が堅調に伸びたことで、売上高は前年同期比9.2%増、営業利益率は同0.8%増。
- ・ 通期は、9月末時点の堅調な受注状況を背景に、売上高は前期比4.6%増の304億円、営業利益率18.1%を計画。
(予想:売上高323億円、営業利益率18.0%)

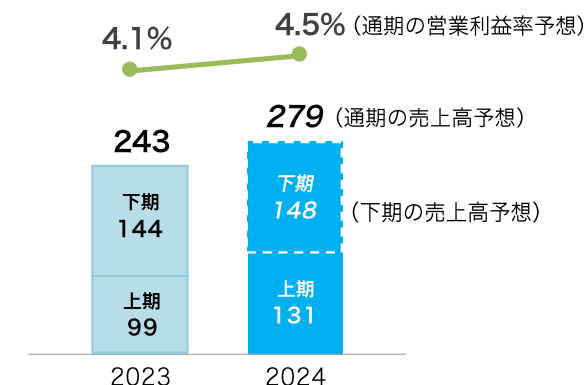
売上高(億円) ・ 営業利益率



海外事業

- ・ 上期は、新規連結の影響により、売上高は前年同期比31.9%増。
一方で、ニュージーランドとベトナムにおける業績が減速したことで、営業利益率は同1.0%減。
- ・ 通期は、新規連結の影響とオーストラリアにおける堅調な受注状況を背景に、売上高は前期比14.9%増の279億円、営業利益率は同0.4%増の4.5%を計画。

売上高(億円) ・ 営業利益率



設備投資

2026年度(中計最終年度)
250~300億円



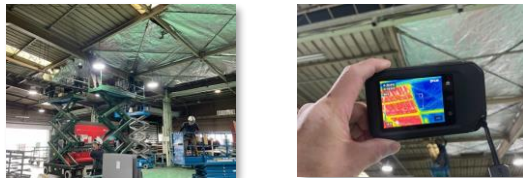
2024年度上期における主な内訳

- **生産性向上【約20億円】**
姫路工場設備刷新他
- **老朽化対策他【約6億円】**
BXティアール工場改修他



改修工事を行ったBXティアールの工場棟(右)

- **作業環境の改善【約2億円】**
自社6工場の遮熱対策



当社福岡工場に遮熱シート「はるクール」を施工中の様子。サーモグラフィカメラで天井温度を確認したところ、左側の施工前は30.0℃、右側の施工後は18.2℃と遮熱効果が確認された。

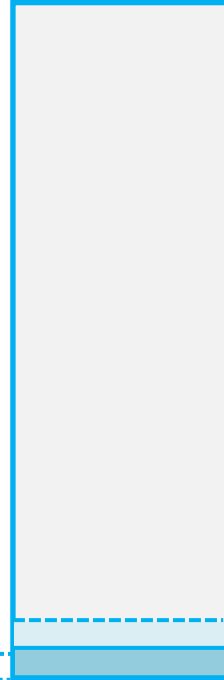
- **DX推進【約3億円】**

2024年度
80億円
(予想)

2024年度上期
31億円
(実績)

戦略投資

2026年度(中計最終年度)
100~150億円



2024年度
2億円
(予想)

2024年度上期
1億円
(実績)

2024年度における主な内訳

- **研究開発投資【約2億円(上期1億円)】**

試験検証施設「ライフイン環境防災研究所」における「耐火試験炉」他の試験設備の更新および拡充(下期)



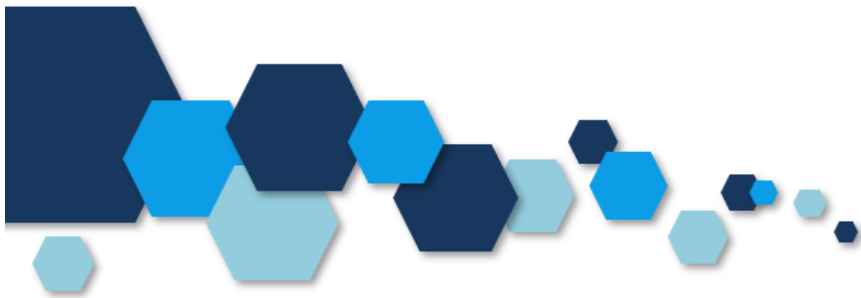
耐火試験炉

木造建築に関わる製品や技術開発を進めるための研究開発施設として、BXカネシンが開発試験センター「B-Lab」を開設(上期)



「B-Lab」の外観

トピックス



<財務>

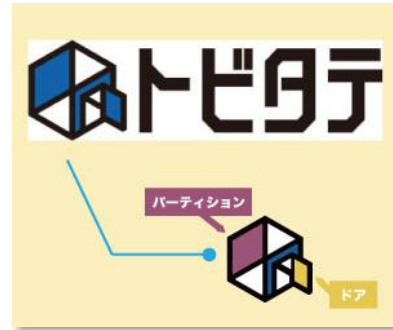
◆ 格付「A-」を維持 (2024年10月)

2023年10月に格付投資情報センターより取得した発行体格付は、2024年10月23日付けで「A-」、格付の方向性は「安定的」を維持

格付機関	格付対象	格付	格付の方向性
格付投資情報センター	発行体格付	A-	安定的

<新商品>

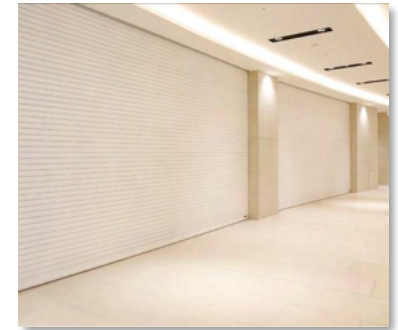
◆ ドア・パーティションの新ブランド「トビタテ」を立ち上げ (2024年7月)



◆ 高速シートシャッター「大間迅ワイドプラス」を発売 (2024年11月)



◆ 重量シャッターの施工に「無火気工法」を採用 (2024年11月)



<受賞>

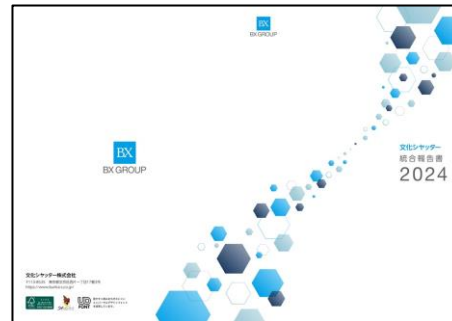
◆ BX止水板「ラクセット ハイタイプ」が“超”モノづくり部品大賞「奨励賞」を受賞 (2024年10月)



1.5mの
浸水高さに
対応

<その他>

◆ ステークホルダーの皆様との対話ツールである「統合報告書」を初めて発行 (2024年10月)

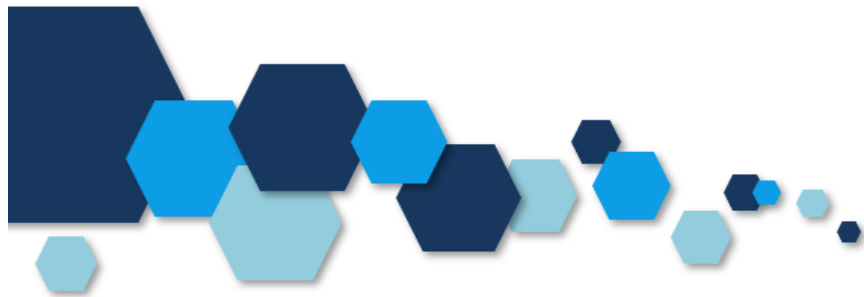


◆ 防災科研他と共同で学校のセンサアラートシステムによる瞬時損傷判定技術の実証実験を開始 (2024年10月)



LEDセンサアラートシステムが導入された校舎の外観

參考資料



- 社 是 「誠実 努力 奉仕」
- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び連結子会社35社（2024年9月末現在）
- 事 業 シャッター事業、建材関連製品事業、サービス事業、
リフォーム事業、その他事業
- 拠 点 319営業拠点 132サービス拠点 36工場（2024年9月末現在）
- 従業員数 5,396名（2024年9月末現在）

【文化シャッター株式会社（単体）】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 小倉 博之

設 立 1955年（昭和30年）4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

シャッター関連製品事業

- BX新生精機(株)
「電動開閉機」製造・販売
- BXテンパル(株)
「オーニング」製造・販売
- BX沖縄文化シャッター(株)
「シャッター」製造・販売

建材関連製品事業

- BX文化パネル(株)
「ドア」「パーティション」製造・販売
- BXルーテス(株)
「ドア」製造・販売
- (株)エコウッド
「環境建材(再生複合材)」製造・販売
- BXケンセイ(株)
「ドア」製造・販売
- BXティアール(株)
「ドア」「スライディングウォール」
製造・販売
- 不二サッシ(株)グループ (※)
「ビル用サッシ他」製造・販売
- BX鐵矢(株)
「ドア」製造・販売
- BX紅雲(株)
「ステンレス建材」製造・販売
- BX東北鐵矢(株)
「ドア」製造・販売
- BXカネシン(株)
「建築金物」開発・販売
- BX朝日建材(株)
「ドア」製造・販売
- BX西山鉄網(株)
「建築資材」製造・販売

サービス事業

- 文化シャッターサービス(株)
「シャッター・ドア等の修理・点検」

リフォーム事業

- BXゆとりフォーム(株)
「住宅リフォームの設計・施工・請負」

その他事業

- BXあいわ(株)
「損害保険代理業」
- BX TOSHO(株)
「建築構造設計」

海外事業

<オセアニア・オーストラリア>

- BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD (事業会社8社)
「ガレージドア」「シャッター」製造・販売・施工・アフターメンテナンス

<ASEAN・ベトナム>

- BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.
「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

<オセアニア・ニュージーランド>

- BX BUNKA NEW ZEALAND LIMITED (事業会社4社)
「ガレージドア」「シャッター」製造・販売

- BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.
「電動開閉機」製造・販売

- EUROWINDOW.,JSC (※)
「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

※ 関連会社で持分法適用会社

(単位：百万円、%)

	2024年3月期		2025年3月期上期		増	減
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	120,049	58.0	114,093	55.9	△ 5,956	95.0
現金・預金	40,151	19.4	40,145	19.7	△ 6	100.0
受取手形・売掛金・契約資産	57,567	27.8	46,407	22.7	△ 11,160	80.6
棚卸資産	19,880	9.6	23,660	11.6	3,780	119.0
その他	2,451	1.2	3,881	1.9	1,430	158.3
固定資産	86,830	42.0	90,167	44.1	3,337	103.8
土地	13,121	6.4	13,530	6.6	409	103.1
投資有価証券	19,940	9.6	20,233	9.9	293	101.5
その他の投資・資産	2,447	1.2	2,495	1.2	48	102.0
その他	51,322	24.8	53,909	26.4	2,587	105.0
資産合計	206,879	100.0	204,261	100.0	△ 2,618	98.7
流動負債	65,559	31.7	60,202	29.5	△ 5,357	91.8
支払手形・買掛金	37,157	18.0	34,749	17.0	△ 2,408	93.5
短期借入金	2,169	1.0	2,112	1.0	△ 57	97.4
その他	26,233	12.7	23,341	11.4	△ 2,892	89.0
固定負債	37,395	18.1	37,725	18.5	330	100.9
社債	10,000	4.8	10,000	4.9	10,000	-
長期借入金	3,209	1.6	2,870	1.4	△ 339	89.4
退職給付に係る負債	16,433	7.9	16,309	8.0	△ 124	99.2
その他	7,753	3.8	8,546	4.2	793	110.2
負債合計	102,954	49.8	97,928	47.9	△ 5,026	95.1
純資産合計	103,924	50.2	106,332	52.1	2,408	102.3
負債・純資産合計	206,879	100.0	204,261	100.0	△ 2,618	98.7

1株当たり純資産

1,458円84銭

1,492円17銭

期末株価

1,740円

1,805円

PBR (株価純資産倍率)

1.19

1.21

Point

PBRは3月末対比で0.02ポイントアップ

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2024年3月期上期	2025年3月期上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,392	6,713	3,321
税金等調整前中間純利益	4,974	3,903	△ 1,071
減価償却費	2,169	2,567	398
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	4,901	11,567	6,666
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 4,239	△ 2,577	1,662
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 4,726	△ 3,494	1,232
法人税等の支払額	△ 2,035	△ 3,974	△ 1,939
その他	2,348	△ 1,279	△ 3,627
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,230	△ 2,796	9,434
投資有価証券の売却による収入	86	1	△ 85
投資有価証券の取得による支出	△ 11	△ 16	△ 5
有形固定資産の売却による収入	6	83	77
有形固定資産の取得による支出	△ 2,395	△ 2,466	△ 71
無形固定資産の取得による支出	△ 429	△ 371	58
その他	△ 9,487	△ 27	9,460
3. フリーキャッシュ・フロー	△ 8,838	3,917	12,755
4. 財務活動によるキャッシュ・フロー	11,931	△ 3,579	△ 15,510
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,889	△ 120	△ 14,009
長期借入れによる収入	-	150	150
長期借入金の返済による支出	△ 5	△ 429	△ 424
配当金の支払額	△ 1,292	△ 2,425	△ 1,133
その他	△ 661	△ 755	△ 94
5. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,814	561	△ 2,253
6. 現金及び現金同等物の期首残高	31,027	39,149	8,122
7. 現金及び現金同等物の中間期末残高	33,842	39,711	5,869

Point
フリーキャッシュフローは
127億円増

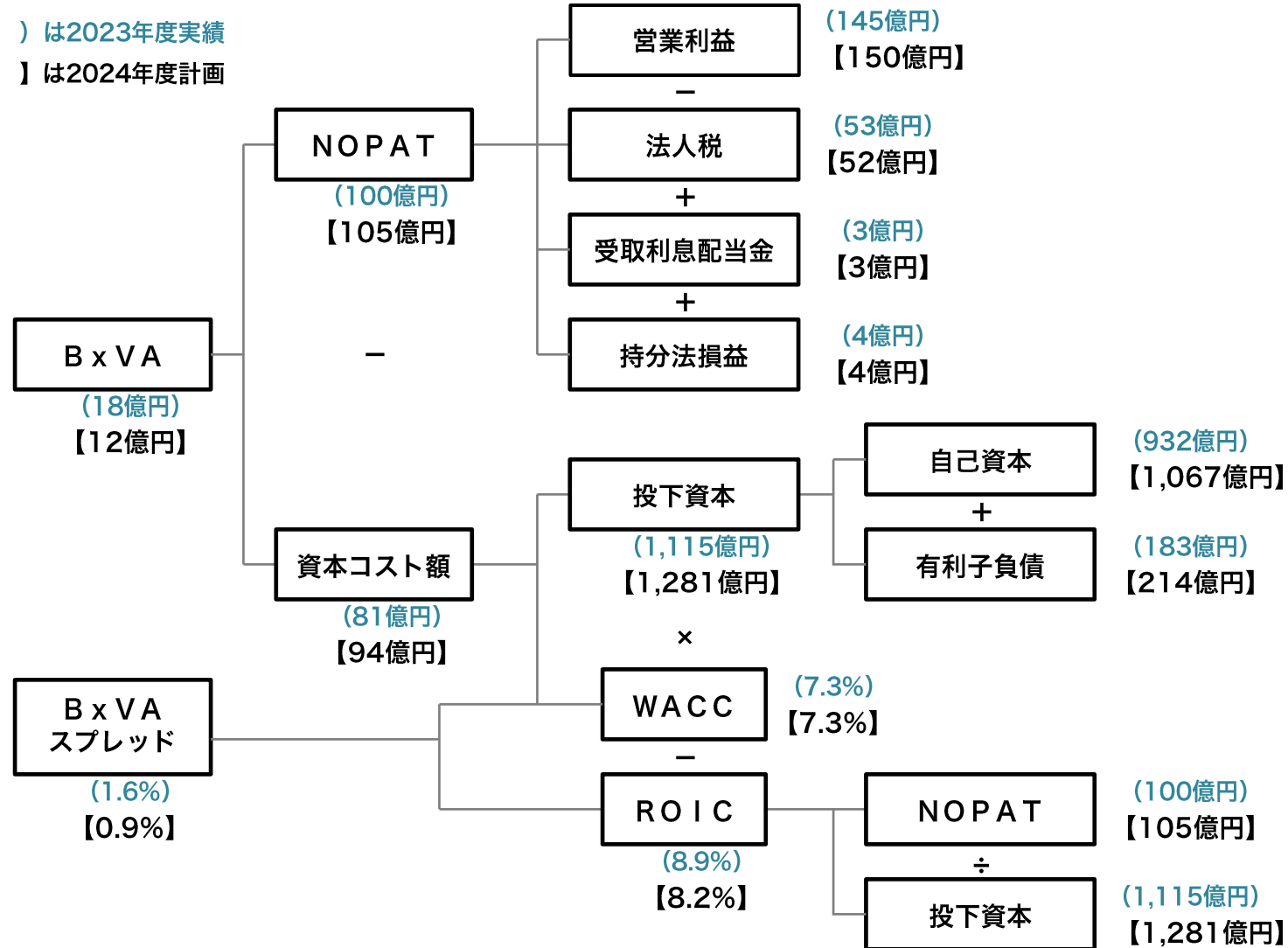
売上高・営業利益の持続的成長と併せて、資本効率も追求し、ROE 11%、WACC 7.3%に対してROIC 9.1%をめざす。

	中期経営計画の 重要な経営指標	2023年度 実績	2024年度 計画	2026年度 計画	対2023年度
収益性	売上高	2,210億円	2,300億円	2,500億円	+290億円
	営業利益	145億円	150億円	188億円	+43億円
	営業利益率	6.5%	6.5%	7.5%	+1.0%
資本効率性	ROA	5.5%	5.4%	5.6%	+0.1%
	ROIC	8.9%	8.2%	9.1%	+0.2%
	ROE	11.4%	10.7%	11.0%	△0.4%
	BxVA	18億円	12億円	27億円	+9億円
	BxVAスプレッド (ROIC-WACC)	1.6%	0.9%	1.8%	+0.2%
財務健全性	DEレシオ	0.21	0.19	0.28	+0.07
	自己資本比率	50.2%	50.6%	49.6%	△0.6%

※ BxVA (Bx Value Added) : 投下資本に対する付加価値額を表す

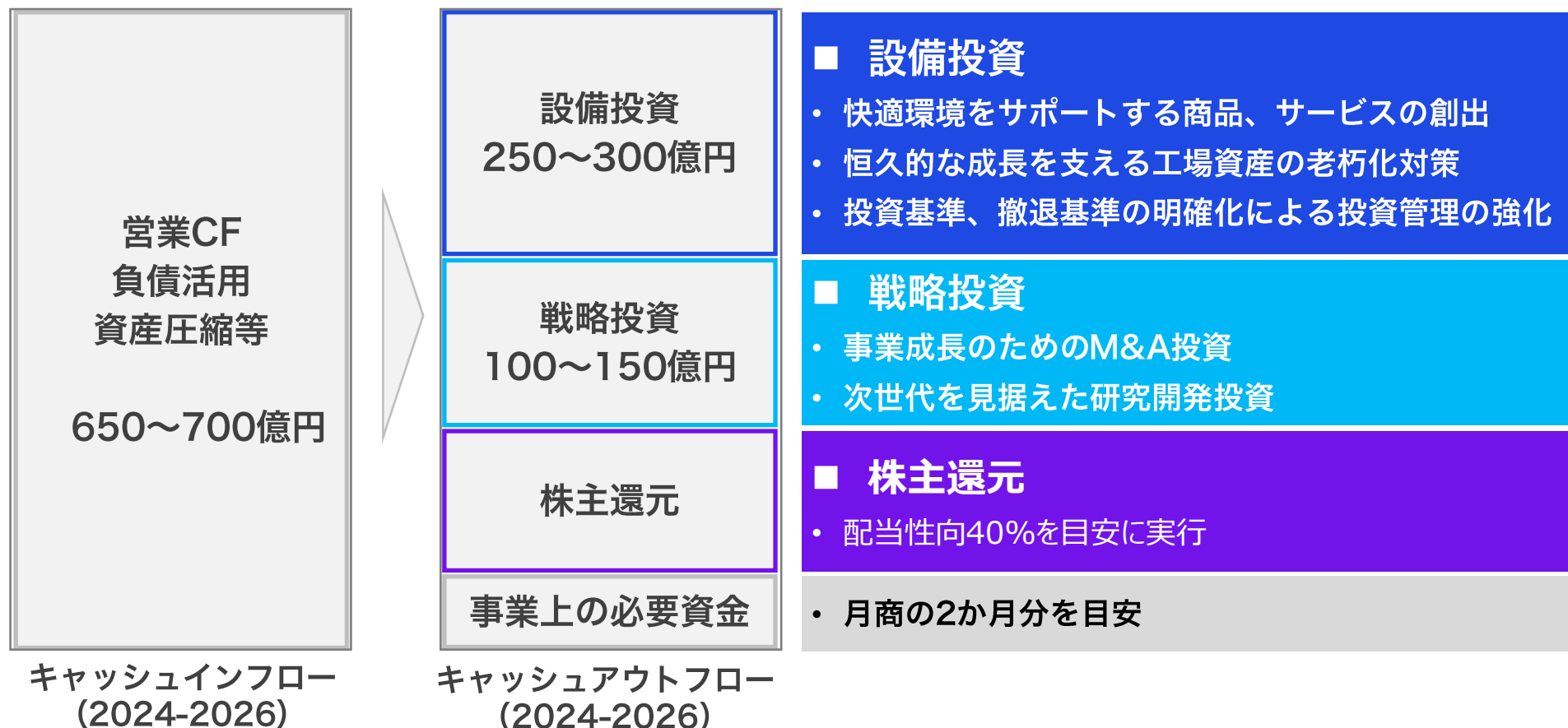
【資本コスト経営の実践】 BxVAツリー図

() は2023年度実績
 【 】は2024年度計画

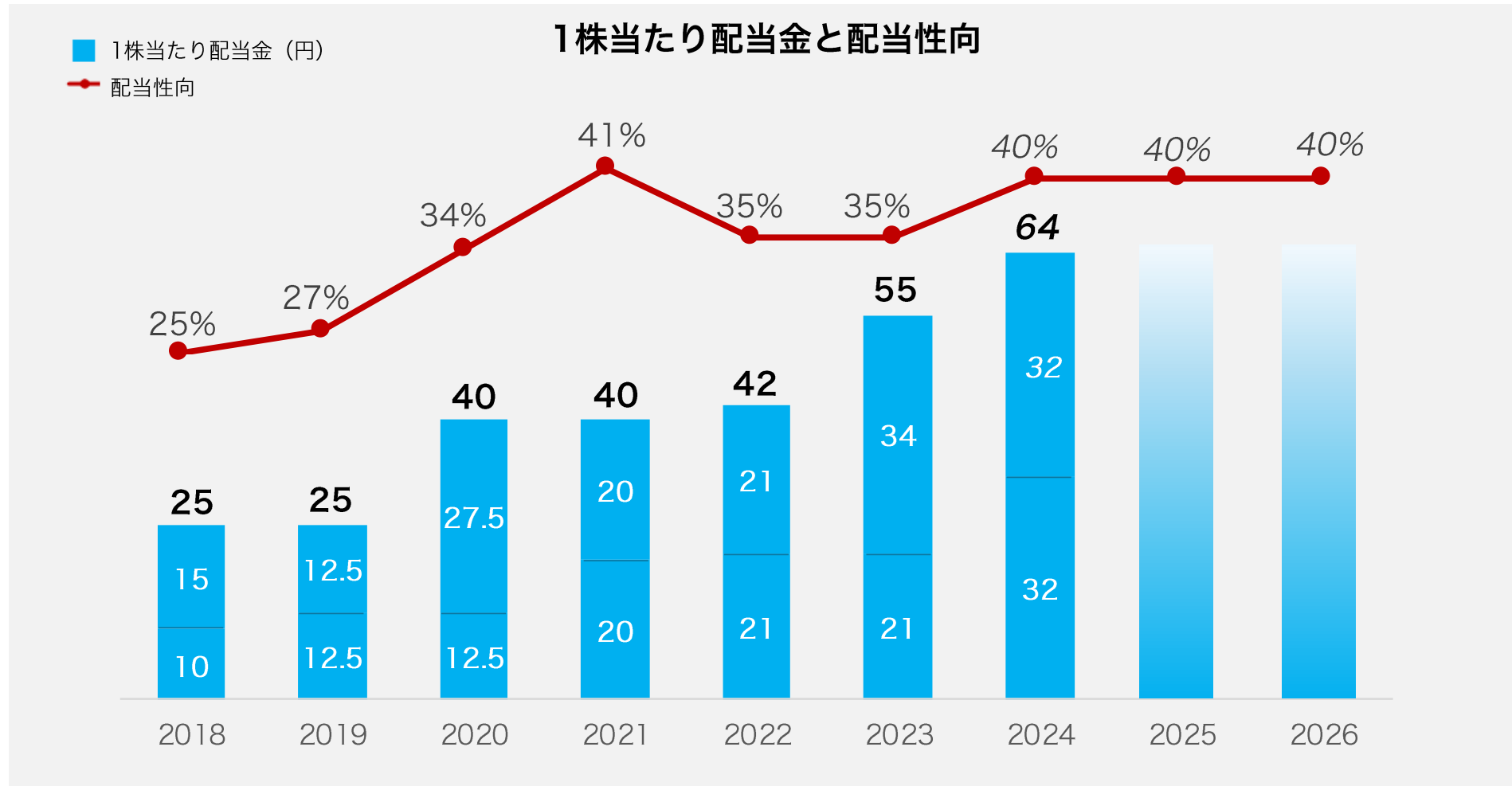


中長期的な事業環境変化に対応するための設備投資、戦略投資を行うとともに、株主還元を拡充する。

営業利益の成長と併せて、資本収益性の向上としてROE、ROICを高め、成長に必要なキャッシュフローの創出を図る。
加えて、最適資本構成の方針に基づき負債調達を実施する。



持続的な利益確保により、配当性向40%を目安に実行する。



経営基盤強化（サステナビリティへの対応）

- BXグループがめざす「快適環境ソリューショングループ」の実現に向けて、サステナビリティの追求を図る。
- 重要テーマである「気候変動」「人的資本」「人権」への対応を通じた経営リスクの縮小によって資本コストを低減させ、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に繋げていく。

重要テーマ

取り組み事項

気候変動への対応

事業活動を通じて脱炭素や気候変動の緩和と適応に貢献する

人的資本の充実

「社内環境整備方針」、「人材育成方針」に基づき人的資本の充実を図る

人権の尊重

人権を尊重した事業活動を行うことでステークホルダーとの信頼関係を構築する

【円換算】

(百万円)

	2023年6月期		2024年6月期		
	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高	10,064	-	13,172	-	130.9%
BXAU(※1)	8,963	-	11,378	-	127.0%
BXNZ(※2)	628	-	1,439	-	229.3%
BXVN(※3)	473	-	354	-	74.8%
営業利益(※4)	585	5.8%	830	6.3%	141.8%
BXAU	389	4.3%	641	5.6%	164.9%
BXNZ	184	29.3%	232	16.1%	126.1%
BXVN	13	2.7%	△ 43	-12.2%	-

※1 BX BUNKA AUSTRALIA

BXAU子会社であるDOORWORKS社は2023年4月から、SPRINT社は2023年9月から連結

※2 BX BUNKA NEW ZEALAND

※3 BX BUNKA VIETNAM

※4 営業利益は現地会計基準に基づき算出

BXNZの2023年度実績は5月から6月までの2ヶ月間

【現地通貨】

(千AU\$、千NZ\$、百万VND)

	2023年6月期		2024年6月期		
	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高					
BXAU	\$ 98,274	-	\$ 113,557	-	115.6%
BXNZ	7,457	-	\$ 15,527	-	208.2%
BXVN	VND 82,721	-	VND 58,101	-	70.2%
営業利益(※4)					
BXAU	\$ 4,265	4.3%	\$ 6,400	5.6%	150.0%
BXNZ	2,181	29.3%	\$ 2,499	16.1%	114.5%
BXVN	VND 2,211	2.7%	VND △ 7,072	-12.2%	-

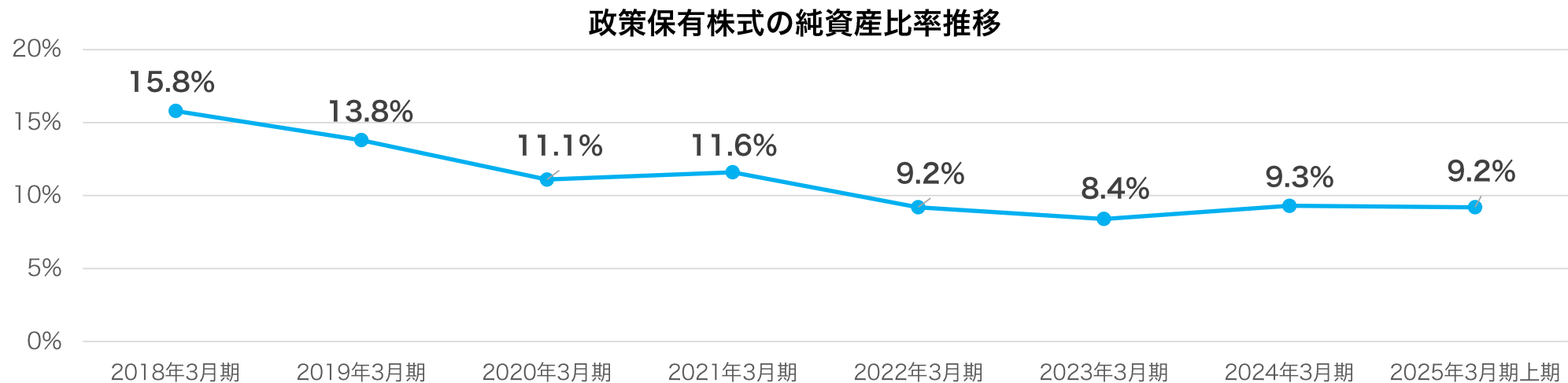
為替レート(※5)	2023年度	2024年度
円/AU\$	91.20	100.20
円/NZ\$	84.18	92.70
円/千VND	5.72	6.09

※5 為替換算レートは期中平均レートを採用

当社の保有している政策保有株式は、既に中長期的に保有している銘柄であり、毎年、個別銘柄毎に配当金・関連取引等の関連収益が当社資本コストに見合っているかを検証したうえで、その結果を参考に保有の適否を判断しております。なお、保有の合理性または必要性が認められなくなったと判断される銘柄については売却を推し進め、保有株式の縮減を図る方針としております。

当社は上記の方針に基づき、政策保有株式の縮減を進めており、政策保有株式残高の連結純資産に対する比率は、2018年3月期の15.8%から2025年3月期上期では9.2%へと縮減を進めております。

これらの政策保有株式に係る議決権の行使に当たっては、政策保有先の中長期的な企業価値向上の観点から当該企業の経営状況を勘案するとともに当社の企業価値の向上に資するか否かの観点にも照らし、議案毎の賛否を適切に判断することとしております。
なお、政策保有先から当社株式の売却等の意向が示された場合においても、その意向を妨げるような行為を行わないこととし、取引の継続等についても経済合理性を十分に検証のうえ、株主共同の利益向上の観点から適切に判断するものとしております。



<事業環境>

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	通期		通期		通期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
民間企業設備投資 (兆円)	89.9	103.4%	90.2	100.4%	92.1	102.0%
新設住宅着工戸数 (万戸)	86.0	99.4%	80.0	93.0%	79.8	99.8%
民間非住宅着工床面積 (万㎡)	4,329	99.0%	3,883	89.7%	3,739	96.3%
倉庫 (万㎡)	1,273	96.1%	1,174	92.8%	987	84.1%
工場 (万㎡)	868	122.6%	718	82.7%	732	101.9%
事務所 (万㎡)	543	79.9%	571	105.1%	607	106.3%
医療・福祉 (万㎡)	432	99.4%	355	82.1%	355	100.0%
店舗 (万㎡)	424	101.6%	359	84.9%	382	106.3%

2025年3月期の民間企業設備投資は速報値
新設住宅着工戸数と民間非住宅着工床面積の予想は、シンクタンク予測平均から当社算出

ポイント説明

海外情勢は、中東やウクライナ情勢等による地政学リスクが高まる中で、国内経済は企業収益の改善を背景とした賃上げ等による雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大により、緩やかに回復基調が続く見通し。
一方で、継続的な円安によるエネルギー価格や原材料価格の高止まりなど、景気の下振れ要因も多い見通し。

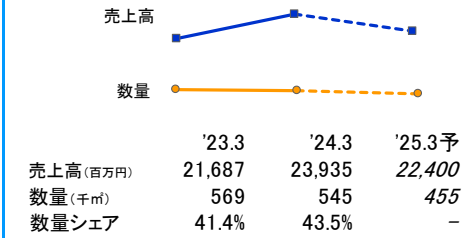
建設・住宅業界は、民間設備投資が堅調に推移しており、建設需要は底堅さを維持しているものの、建設コストの高騰などにより新設住宅着工戸数が弱含みの動きが続くなど、先行きは依然として不透明な状況が続くと予想。

<売上高における住宅向け・非住宅向け比率>

	2024年3月期		2025年3月期
	上期	通期	上期
住宅向け	42.5%	40.5%	43.4%
非住宅向け	57.5%	59.5%	56.6%

当社グループにおける売上比率

<重量シャッター>

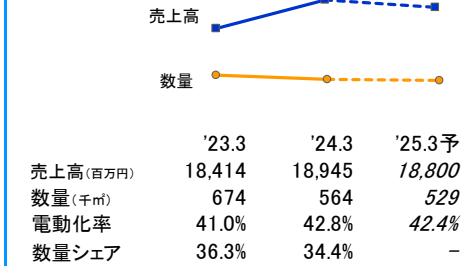


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比7.9%減。
- ◆ 25.3期の売上高は、前期比6.4%減の224億円を計画。

<軽量シャッター>

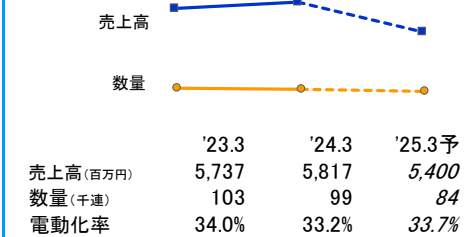


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



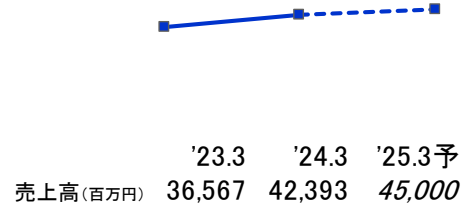
- ◆ 上期の売上高は、前年同期比4.0%減。
- ◆ 25.3期の売上高は、前期比0.8%減の188億円を計画。

<窓シャッター>



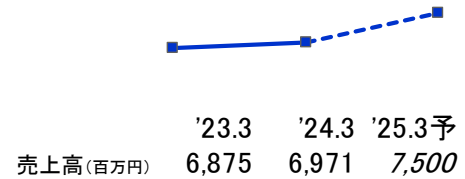
- ◆ 上期の売上高は、前年同期比9.0%減。
- ◆ 25.3期の売上高は、前期比7.2%減の54億円を計画。

<ドア>



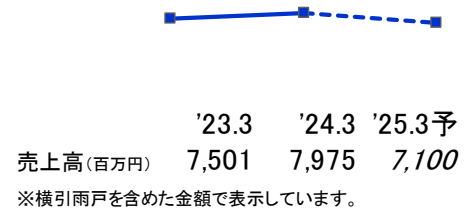
- ◆ 上期の売上高は、前年同期比3.9%増。
- ◆ 25.3期の売上高は、前期比6.1%増の450億円を計画。

<パーティション>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比3.8%増。
- ◆ 25.3期の売上高は、前期比7.6%増の75億円を計画。

<エクステリア(住宅建材)>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比14.3%減。
- ◆ 25.3期の売上高は、前期比11.0%減の71億円を計画。

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 広報室
E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp
<https://www.bunka-s.co.jp/>